

協賛企業と合同でゴミ袋の原料となる

「資源米」の稲刈りを実施します



過去の稲刈りの様子



令和8年度ゴミ袋デザイン

本市は、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指し、カーボンニュートラルであるバイオマスプラスチックの利用を推進しています。

この一つの取組みとして「市内産のお米を原料にしたバイオマスプラスチック製の指定ゴミ袋」を導入しています。

このたび、本取組に賛同いただいている協賛企業と合同での稲刈りを初めて実施しますので、広報にご協力頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 日時 令和8年9月2日（水）午前10時00分から午前10時40分
※雨天中止
- 2 場所 新潟市南区木滑 702～707（株式会社やまがら生産圃場）
- 3 出席者 新潟市 副市長 佐久間 なおみ
株式会社バイオマスレジマーケティング 代表取締役社長 山田 眞
株式会社やまがら 取締役 吉崎 良咲
新潟市消費者協会 副会長 斎藤 和子
協賛企業（別紙「事業概要」参照）の代表者
- 4 内容 資源米の稲刈り（コンバイン乗車）の体験、記念撮影
- 5 備考 取材希望の場合は、別紙「取材申込書」にて
8月31日（月）正午までに申し込みください。

お問い合わせ

(株)バイオマスレジマーケティング 杉原
TEL 080-5099-1023



新潟市環境部循環社会推進課 近
TEL 025-226-1391

～お米づくりから派生するゼロカーボンへの挑戦～



取組内容

●お米（資源米※）の生産 ※非主食用米

新潟市内でお米のバイオプラスチック用の資源米を生産

- ・農地所有適格法人 株式会社やまがら（西蒲区）
- ・農事組合法人 あけぼのクラブ（江南区）

●資源米を使った「指定ごみ袋」製造

新潟市内で生産した資源米を使った「指定ごみ袋」製造

- ・「指定ごみ袋（20ℓ・小）」を令和8年度内に500万枚

（低密度バイオポリエチレン、新潟市産の米10%配合）

お米のごみ袋ができるまで

西蒲区と江南区で育てた「お米（資源米）」が、工場でお米のプラスチック「ライスレジン®」になり、それを原料とした「新潟市の家庭用ごみ袋」に生まれ変わります。



市民のみなさんがこのライスレジン製ごみ袋を使う事によって、これまでより「二酸化炭素の排出を10%抑制」することができます。

ポイント

- 令和6年度全国で初めて市内で生産されたお米を原料とした指定ごみ袋を導入＝「田園型環境都市にいがた」のPR
- ごみ袋を通じて、環境問題やプラスチック削減などを意識するきっかけに＝「ゼロカーボンシティ」の取組みPR

ごみ袋の協賛企業（令和8年度製造分）



- ・アイビス技建株式会社
- ・イワコンハウス新潟株式会社
- ・グリーン産業株式会社
- ・生活協同組合コープデリにいがた
- ・東北電力株式会社
- ・ナミックス株式会社
- ・新潟機械株式会社
- ・株式会社新潟日報社
- ・東日本高速道路株式会社（NEXCO 東日本）
- ・株式会社BSN アイネット
- ・株式会社本間組
- ・明治安田生命保険相互会社

8月31日（月）正午までにメールまたはFAXにてお申し込みください。

E-mail junsui@city.niigata.lg.jp

FAX 025-222-7032

新潟市環境部循環社会推進課 行

9月2日（水）10:00～ ごみ袋の原料となる「資源米」の稲刈り

取材申込書

社名		
連絡先	氏名	
	電話番号	
	FAX 番号	

※雨天中止の場合、前日の9月1日（火）午後5時までに上記電話番号に連絡します。

【案内地図】

新潟市南区木滑 702～707（新潟交通観光バス(株)潟東営業所 付近）

※車は○囲みの「関係者駐車位置」に駐車をお願いします。

※必ず**入口側**から入場をお願いします。



上記の二次元コードよりグーグルマップの位置情報を確認できます。